

令和4年度

看護キャリア開発センター年間報告



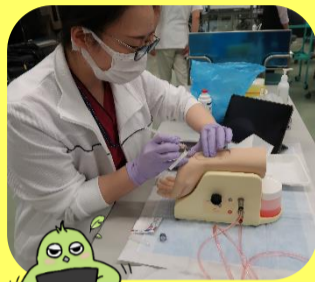
目標：和歌山県内看護師等のキャリア支援

1. 特定行為研修の円滑な運営を行う

令和4年度には**附属病院看護職員向けの「急性期コース」**を開講しました。このコースは受講期間1年とし、「動脈血液ガス分析関連」「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）」を修得します。令和4年4月から第1期生7名が受講をスタートし、令和5年3月に7名全員が無事修了しました。令和5年度からは附属病院で9名の修了者が活動することになります。



区分別研修 OSCE



区分別研修 演習



従来より他施設で働く看護職員向けに実施していた「地域医療コース」では、**6期生が無事に修了式を迎えました。**これで「地域医療コース」の修了者はのべ44名になりました！



6期生区分別研修

また、**7期生が共通科目研修の受講を終え、**次年度からは区分別研修の受講に進みます。7期生では附属病院看護師1名と紀北分院看護師1名が受講中です。



7期生 フィジカルアセスメント演習



7期生 臨床推論演習

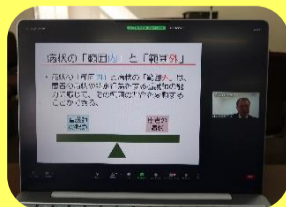
そして、次年度4月から受講をスタートする第8期の受講審査を終え、**新たに8期生として10名の受講が決定**しました。

特定行為研修受講推進のための取り組みとして、令和4年9月28日に**オンラインオープンキャンパスを実施**しました。県内外の医療機関や訪問看護ステーション計12施設から16名に参加いただき、参加者の中から第8期の受講審査に4名の応募がありました。

また、**研修を終えた修了者の知識・技術のフォローアップ研修**として、区分別研修の講義の聴講、スキル・トレーニングに修了者が参加する形で開催しました。「気管カニューレ交換」で3名、「創傷管理関連」で2名の参加がありました。また、修了者には全国各地で実施されている特定行為研修関連のフォーラムや研修会などの開催情報を共有しました。

11月5日(土)には、厚生労働省の委託を受けて**特定行為研修指導者講習会をWeb開催**しました。

全国から50名の参加があり、満員御礼となりました！講師は例年と同じく、院内講師・外部講師に依頼し、グループディスカッションのファシリテーターには、附属病院認定看護師の皆さんにもご協力いただきました。



発行：看護キャリア開発センター
内線：3276
作成担当：関口

2. 県内の看護職にキャリア支援やニーズにそった選択できる研修機会を提供する

本学から遠距離に在住している医療機関等で働く看護職や、時間の都合がつきにくく、研修参加が難しい看護職等が受講可能な研修として、**附属病院専門看護師・認定看護師学習会をオンデマンド配信**で提供しました。配信した4テーマに対して、のべ87名の参加がありました。

視聴後アンケートでは「学べる機会を得られてありがたい」「在宅で、脳卒中後の後遺症と共に生活をされている利用者を受け持っており、学んだことを活用したい」等のご意見をいただきました。

附属病院看護師・保健看護学部生を対象にした取り組みとして、令和4年8月5日に**キャリア支援座談会「先輩に聞いてみよう！～資格取得を考えてみる～」**を実施し、対面・Web合わせて20名の参加がありました。3名の看護師それぞれの専門資格に関する話を聞き、参加者からは「今後のキャリアを考える参考になった」「スタッフ支援の参考になる」といった感想をいただきました。



3. 保健看護学部学生のキャリア支援をおこなう

保健看護学部・附属病院看護部と連携し、学生のキャリア支援を目的に「ジョブシャドウイング」を企画・実施しました。2クールで計8病棟にご協力いただき、3年生16名の参加がありました。

日程	協力病棟	参加数
1月24日・25日・27日	5西 7東 8西 11東	計8名
2月7日・8日・10日	7西 8東 9西 12西	計8名

参加した学生には開始日と終了日にアンケートを実施し、ジョブシャドウイング前後の変化を確認しました。終了日の回答では「実践のイメージがついた」「キャリアを考える機会になった」などの項目でシャドウイング前より高得点になっていました。「実際の現場を見て、大変さを感じるとともに、働くイメージがついた」「PNSだけでなく、リーダー看護師や看護師長、それぞれの役割について知った」「職業の価値観ややりがいを感じた」「働く上でのコミュニケーションや連携、相手の立場で考えることの重要性に気づいた」などの感想もあり、皆さんの看護する姿を見て、学生は就職に対する前向きなイメージを持つことができたようです。

大雪や、コロナで病棟はとても大変な時期でした。お忙しいなかご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！次年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

看護キャリア開発センターの活動にご協力いただき、ありがとうございました！
次年度もどうぞよろしくお願いいたします

